

久々に薫ったのは、風ばかりでなく、山麓探偵団の活動もまた、五月の爽やかさに恩恵をうけた。

（まぼろしの滝）、まさに滝の誕生の一瞬を、伊藤浩美団長の案内で、今回は両日とも満喫することができた。

のべ四十個の目で確認した、滝の誕生、さらに次月の探偵団で沢の水を追うことができるなら、きっと水の命の心髄とも、感知し合えるにちがいない。まずは、参加者の感想文から、どうぞ。

## 五月十三日（木）の探偵団感想

山中湖は晴天。富士山も綺麗に見えています。ちょうど私たちが向かう須走口五合目辺りに、雲があります。心配しながらも、きつと幻の滝が見えるだろうと期待が高まりました。現地も晴天で、はつきりと頂上がみえました。

「幻の滝」はなかなか見つけられないものかと思っていたら、伊藤団長が石に白いペンキで書いてある『滝』という文字を指して、これを辿れば誰でも行けますからおっしゃっていました。それからゆっくりゆっくりと山を登ります。

駿河湾の湿った空気が麓畔辺りで冷やされて雲になる。そんな小学校の時に教科書に書いてあった説明が、現実にも目の前に現れました。それからカラマツの雌花や雄花、雪の重さに逆らわずに成長する木々たちを観察しました。

歩いていくと、岩が長年の水に削られ、流れたあとは綺麗な色がついています。「幻の滝」付近に近づきました。しかし、滝はありません。幻の滝は、その日の日射で、富士山の雪解け水が、滝になるのです。まぼろしとは、見える時期と時間が、限られていることだったのです。もう少し上に行こうとした地点で、滝の出現を知らされました。



少し下へ戻り、その瞬間を待ちました。上のほうから少しずつ、流れる水の音が聞こえます。ミソサザイも鳴きながら、その時を待ちます。

出てきました！！幻の滝！富士山の雪解け水です。（Y・S）

## 五月十五日（土）の探偵団感想

空は快晴。すがすがしい天気でした。夫について、初めての参加であり、久しぶりの山歩きです。

須走五合目には車でスムーズに着きました。滝への登り口にも人影はなく、私達だけで出発という、さながら探偵団らしい行動となりました。山は薄もやが立ちこめ、冷気が漂っていました。ゆっくり登りながら、カラマツの雌花と雄花の見分け方、いずれ雌花が松ぼっくりになる話などを団長から伺いました。十一時半近くに目的地に到着しました。水の流れる音を間近に聞いて、もう一つ高みまで登ると、まさに雪解け水の先端が流れて来るところに遭遇できました。今、幻の滝が出現したのです。一同感激。

霧の中を滝が次第に水量を増して流れゆく様子を、しばし見学しました。滝の横の岩やスコリアを登り下りする行程で、ちよつとした山登り気分が味わえました。

帰りに日本のグランドキャニオンの最短コースを案内していただき、その雄大な地層を対岸から見学しました。前々から行ってみたいと思っていたところだったので、感激はひとしおでした。総勢十人の、楽しいひとときでした。

（Y・A）

## ◇ 六月の探偵団活動のご案内

（水の行方・沢をたどる一日）

西丹沢の滝や沢づたいに、初夏の水の命を体感する企画、団長は、アルピニストの戸高雅史氏。今回は十名限定の催行です。西丹沢には、昨今心配されるヒルは皆無いですので、どうかご安心ください。

◆日時 六月十九日（土） 昼から

翌日二十日夕方までの一泊

◆集合 十九日 昼十二時にあみん

◆持ち物 雨具・マイ食器・着替

え・シユラフ・銀マット・虫

除け・おやつ・任意で楽器。

\*シユラフ・沢シューズ貸与あり

また、携帯トイレの準備もあり。

◆参加費 6,300円

（食費、保険代を含む）

◆申し込み・問い合わせは、四日前

までに、電話かメールで。

〇尚、七月の探偵団は、二十四日

（土）に、山中湖畔、大平山付

近を、昆虫のくらしを垣間見ながらの散策と題して、予定して

おります。また、例年のとおり、

八月の探偵団はお休みです。

発行 山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八

電話 〇五五五・六五・七〇二三